

[成果情報名] 小輪、淡黄花、一重咲きの鉢物用マーガレット新品種「伊豆 28 号」

[要約] 交雑育種法により、小輪、淡黄花、一重咲きの鉢物用新品種「伊豆 28 号」を育成した。本品種は、年内から開花し、草姿がコンパクトで、現地の適応性も高いことから、鉢物用品種として有望である。

[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、伊豆 28 号

[担当] 静岡農林研・伊豆農業研究センター

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

マーガレットは、静岡県南伊豆地域の特産花きとして昭和初期から栽培されている。これまでのマーガレットは切り花用途が主体であったが、鉢物や花壇材料としての需要も伸びている。このため、県内鉢物生産者から花色等の色幅の増加が望まれていることから、新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 育成経過：平成 18 年度に静岡県農業試験場南伊豆分場（現伊豆農業研究センター南伊豆圃場、賀茂郡南伊豆町）において、育成系統「04-31-1」の自然交雑実生を播種して得られた 141 個体から 2 個体を選抜して、「06-15-1」、「06-15-2」の系統名を付与した。平成 19 年度に二次選抜及び現地適応性試験を行い、有望性が確認できたことから、育成系統候補「伊豆 28 号」とした。
- 2 . 生育特性：「伊豆 28 号」は、小輪タイプの一重咲きの淡黄花で、開花時期が早い。開花時の草姿がコンパクトで鉢物用に向く。
- 3 . 現地適応性：「伊豆 28 号」は、鉢物向けの草姿で、年内から開花したことから年内出荷が可能な鉢物用品種として評価された。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 種苗法による品種登録を出願済みであり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

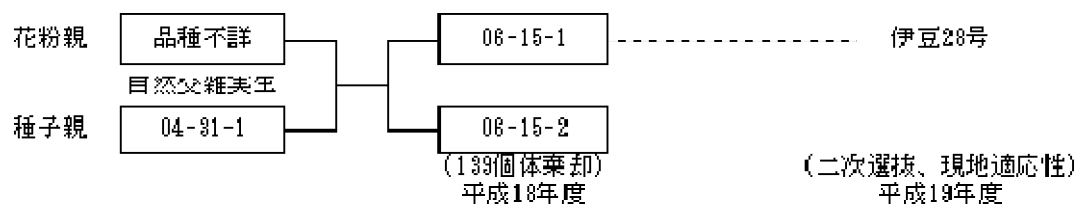


図1 「伊豆28号」の育成系統図

表1 「伊豆28号」の生育開花特性¹

系統名	草型	草丈	葉の形態							開花		花 色			年開花数	うち上物	選抜
			葉片幅	葉の太さ	葉縁の鋸歯	葉縁の粗密	葉身長	葉身幅	葉色 ²	発始	花径	花型	香状花	管状花			
伊豆28号	中	中	中	深	深純	中	短	中	緑	12月上	小	一重	淡黄	黄	2.5	2.5	B
プリムローズベアード ³	ふ	短	狭	浅	深純	粗	短	狭	濃緑	1月以降	小	一重	淡黄	黄	-	-	-
プリンセスレモード ³	中	長	狭	中	深純	粗	短	中	灰緑	8月上	小	一重	淡黄	茶	0.9	0.9	-

¹ 生育特性は種苗分類調査報告書(マーガレット)による栽培期間中の観察調査
² 葉色は「在来白」(緑)を基準とした場合の濃淡等による観察調査
³ 採花時点で両向き葉を淘汰していると考えられるもの本数(初花長10cm以上)
⁴ 選抜基準、A:切花用、B:鉢物(花壇)用、C:交配素材、X:棄却
⁵ 対照品種

表2 現地試験の概要(平成19年度)¹

系統名	花色	花型	花径	草丈	開花開始 ²	現地生産者 ³ の観察状況	評価 ⁴
伊豆28号	淡黄	一重	中	低	11月下	草姿良い(Z、Y、X、W、V、U) 年内から開花する(Z、X、X)	○
サンダーリップル	白	一重	小	低	9月下	対照品種	-
キューティーマイス	桃	丁字	小	低	9月下	対照品種	-

¹ 花径、草丈等の特性は「在来白」を基準に記載(特性調査基準に準拠)、作型は6月挿し芽
² 6月下旬定植の作型における開花時期
³ 沼津市(Z)、伊豆の国市(Y)、三島市(X、W)、富士市(V)、富士宮市(U)
⁴ 評価、X:適さない、△:やや適する、○:有望



図2 「伊豆28号」の草姿

[その他]

研究課題名：マーガレット新品種の育成と生育特性の解明

予算区分：県単

研究期間：2007年～2011年

研究担当者：稲葉善太郎